

船舶事故調査報告書

平成22年1月7日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年10月5日 23時30分ごろ本船及び船長が発見された。）
発生場所	不明（兵庫県豊岡市竹野町に所在する籠島島頂 ^{かこ} から真方位065°750m付近（概位 北緯35°39.9′ 東経134°46.0′）で本船及び船長が発見された。）
事故調査の経過	平成21年10月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報	
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第二富貴丸 ^{とみゆき} 、0.2トン HG3-29829（漁船登録番号）、個人所有 4.37m(Lr)×1.14m×0.47m、FRP ガソリン機関、30kW（漁船法馬力数）、平成4年7月5日
乗組員等に関する情報	船長 男性 63歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年10月24日 免許証交付日 平成20年6月17日 (平成25年10月30日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	船外機脱落、船縁に擦過傷
事故の経過	本船は、平成21年10月5日17時30分ごろ、船長1人が乗り組み、いか一本つり漁業の目的で、豊岡市宇日漁港 ^{うい} を出航した。 宇日漁港に向け航行中の僚船船長は、21時00分ごろ同漁港北方の海岸付近に何かが浮いているのを見たが、特に気に留めずに帰港した。 僚船船長は、予定時刻を過ぎても本船が帰港しないことから、もしや帰航中に見たものが本船ではないかと思い、警察及び海上保安庁に通報するとともに所属漁業協同組合に連絡した。 僚船等により捜索が行われた結果、23時30分ごろ、籠島島頂から真方位065°750m付近の海岸近くで、転覆している本船及び救命胴衣を着用してうつ伏せの状態海面に浮いている船長が発見された。船長は溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風 ほとんどなし、視界 良好、気温 約18℃ 海象：波 なし、水温 約24℃
その他の事項	本船が発見された場所は、海岸に近い岩礁帯であった。

	<p>船長が着用していた救命胴衣は、自動膨脹式のもので、正常に膨脹していた。</p> <p>発見された船長は、頭部から出血していた。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>死因は、溺死であった。</p> <p>船長は、落水したため、溺死したものと考えられる。</p> <p>本船が転覆した状況及び船長が落水した状況については、明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が宇日漁港を出航後、船長が落水したため、発生したものと考えられる。</p>	